

施策番号	2311		
施策名	保全・再生・創造を基調とするまちづくり		
概要	永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高めるまちづくりを進める。		
担当局	都市計画局	共管局	総合企画局・産業観光局 建設局・上下水道局
上位政策	231 個性と魅力あるまちづくり		

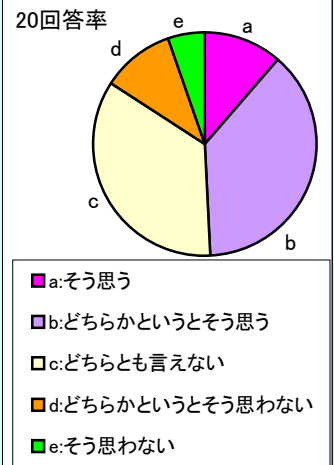
施策の評価

1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 京都市景観・まちづくりセンターにおけるホームページアクセス件数（件）	-	a	162,642	188,067	162,642	115.6%	a
2 景観重要建造物件数（件）	-	a	20	26	40	65.0%	d
3 高度集積地区整備推進協議会会員団体数（団体）	a	a	53	53	55	96.3%	a
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	a	客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

設問	美しい自然や町並みが保たれている一方、南部地域には企業が集積するなど、多様なまちづくりが進んでいる。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	63	12.6%	43	9.6%	77	11.5%
b: どちらかというと思う	218	43.7%	161	35.8%	251	37.5%
c: どちらとも言えない	161	32.3%	167	37.1%	235	35.1%
d: どちらかというと思わない	38	7.6%	52	11.6%	71	10.6%
e: そう思わない	19	3.8%	27	6.0%	35	5.2%
有効回答数	499		450		669	
市民生活実感評価	b		b		b	



* この評価は、毎年5月頃実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	b	a	b
市民生活実感評価	b	b	b
総合評価	B	A	B
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は、A評価からB評価となった。
 客観指標については、景観重要建造物の指定件数が18年度に比較して伸び悩んだため、b評価となった。
 本市においては、歴史都市・京都の景観を保全し、創出していくため、19年9月から地域の景観特性に応じた建築物の高さ規制やデザイン基準の見直しなどを盛り込んだ新景観政策を実施しているが、これに合わせ景観重要建造物の修理・修景に対する助成等をより一層進めていくための予算の確保のために国への要望活動を行っていく。
 市南部においては、「新・京都市南部創造まちづくり推進プラン」に基づき、基盤整備の充実や民間開発の適切な誘導及び企業立地等を促進する。また、南部地域のまちづくりの先導地区である高度集積地区においては、市民・企業・行政の参画する「高度集積地区整備推進協議会」を核としたパートナーシップ型まちづくりを推進するため、土地活用の促進等の課題解決のための調査及び検討に基づき、同地区の整備ガイドプランについて見直しを進めており、主体的なまちづくり組織への支援等により、更なる地域の活性化を図る。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
	1 都心部小学校跡地活用計画策定	24,703	30,386	現状のまま継続	総合企画局政策推進室
	2 「水垂地区における基盤整備のための構想」の推進	38,108	0	終了	総合企画局プロジェクト推進室
	3 大岩街道周辺地域の良好な環境の育成	38,452	47,391	現状のまま継続	総合企画局プロジェクト推進室
	4 京都市内周辺地域における認可地縁団体等乗合バス運行補助	2,700	2,700	現状のまま継続	文化市民局市民生活部 地域づくり推進課
	5 姉小路界わい地区街なみ環境整備事業	14,644	14,644	現状のまま継続	都市計画局都市景観部景観政策課
(従)	6 時を超え光り輝く京都の景観づくり事業	80,803	0	終了	都市計画局都市景観部景観政策課 市街地景観課
(従)	7 都市計画運営経費	179,274	176,833	効率化等による見直し	都市計画局都市企画部都市計画課
	8 京都駅南口立体横断施設整備事業	35,382	35,382	現状のまま継続	都市計画局都市企画部都市づくり推進課
	9 職住共存地区整備推進事業	19,963	19,963	現状のまま継続	都市計画局都市企画部都市づくり推進課
	10 高度集積地区整備推進事業	24,561	24,561	現状のまま継続	都市計画局都市企画部都市づくり推進課
	11 南部開発推進事業	30,652	35,652	充実	都市計画局都市企画部都市づくり推進課

12	地域住民・事業者の主体的な都心のにぎわい創出支援	20,259	20,299	現状のまま継続	都市計画局都市企画部都市づくり推進課
13	洛北第二地区土地区画整理事業	41,833	146,573	現状のまま継続	建設局都市整備部市街地整備課
14	伏見西部第二地区土地区画整理事業	49,217	47,134	現状のまま継続	建設局都市整備部市街地整備課
15	組合等土地区画整理事業	792,904	634,630	現状のまま継続	建設局都市整備部市街地整備課
16	二条駅地区土地区画整理事業	40,515	175,262	現状のまま継続	建設局都市整備部整備推進課
17	伏見西部第三地区土地区画整理事業	249,681	325,724	現状のまま継続	建設局都市整備部南部区画整理事務所
18	伏見西部第四地区土地区画整理事業	560,905	641,131	現状のまま継続	建設局都市整備部南部区画整理事務所
19	伏見西部第五地区土地区画整理事業	497,615	593,432	現状のまま継続	建設局都市整備部南部区画整理事務所
20	上鳥羽南部地区土地区画整理事業	128,285	154,516	現状のまま継続	建設局都市整備部南部区画整理事務所
21	竹田地区土地区画整理事業	65,969	75,915	現状のまま継続	建設局都市整備部南部区画整理事務所
22	油小路通整備事業	256,187	355,761	現状のまま継続	建設局事業推進室 (広域幹線道路担当)
合計		3,192,610	3,557,889		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		2,932,534 (260,077)	3,381,056 (176,833)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2311	保全・再生・創造を基調とするまちづくり
-----	------	---------------------

指標名	京都市景観・まちづくりセンターにおけるホームページアクセス件数（件）
-----	------------------------------------

担当課	都市づくり推進課	連絡先	222-3503
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

京都市景観・まちづくりセンターにおけるホームページアクセス件数

2 指標の意味

地域まちづくり、京町家、マンションなど、まちづくりに関する関心の高さを示す指標

3 算出方法・出典等

景観・まちづくりセンターにおけるホームページアクセス件数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	162,642	188,067	25,425件増	162,642	過去5年間の最高値を目標値に設定した。	115.6%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	134,021	20年度	121.3%	継続的に景観・まちづくりに関する普及、啓発を進めていくものであるため、過去の年間最大アクセス件数を目標値とした。

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a: 最高値以上
b: 最高値未満上中間以上
c: 上中間未満平均値以上
d: 平均値未満下中間以上
e: 下中間未満

6 基準説明

当該指標は、変動するものであり、過去からの推移によって評価されるべきものである。過去の最高値以上をa、平均値以上をcとした。
最高値 162,642件（平成18年度）
平均値 120,428件
上中間 154,247件
下中間 82,269件
最低値 44,111件（平成15年度）

7 評価結果

18	19	20
-	a	a

指標名	景観重要建造物件数（件）
-----	--------------

担当課	景観政策課	連絡先	222-3397
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京町家をはじめとする地域の景観のシンボリックな役割を果たしている建築物等の数

2 指標の意味

地域の景観の維持及び向上に資する建物の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

建造物の総合計
出典：事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	20	26	6件増加	40	前回数値(20) + 中長期目標を達成するための単年度増加件数(20)	65.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	全国1位	108	平成23年	24.0%	歴史的匠建造物件数

備考	中長期目標は目安値として設定。景観重要建造物件数の増加等を図るため、景観形成総合支援事業の制度拡充を国に要望している。
----	---

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a: 90%以上
b: 80%以上90%未満
c: 70%以上80%未満
d: 60%以上
e: 60%未満

6 基準説明

前回数値に、当該年度増加目標数を加えた数値を単年度目標値として設定し、目標値に対する90%以上の達成度をa評価とし、10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

18	19	20
-	a	d

施策名	2311	保全・再生・創造を基調とするまちづくり
-----	------	---------------------

指標名	高度集積地区整備推進協議会会員団体数（団体）
-----	------------------------

担当課	都市づくり推進課	連絡先	222-3503
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

高度集積地区整備推進協議会の会員団体数

2 指標の意味

南部創造のまちづくりに自主的に参加しようという意向を持つ関係団体数を示す指標

3 算出方法・出典等

高度集積地区整備推進協議会の会員団体数（平成19年3月31日時点）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	53	53	増減なし	55	毎年2会員以上の増を目指す。	96.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

5 評価基準

最新の数値が
a：過去5年間の最高値以上
b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去5年間の上中間と平均値の間
d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値）の間
e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

当該指標は、変動するものであり、過去からの推移によって評価されるべきものである。過去の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値 53（平成19年度）
平均値 49
最低値 44（平成10年度）

7 評価結果

18	19	20
a	a	a